

芝浦工業大学2014年度男女共同参画推進シンポジウム
「理工系女性研究者のキャリア形成と研究連携」参加者アンケート結果(抜粋)

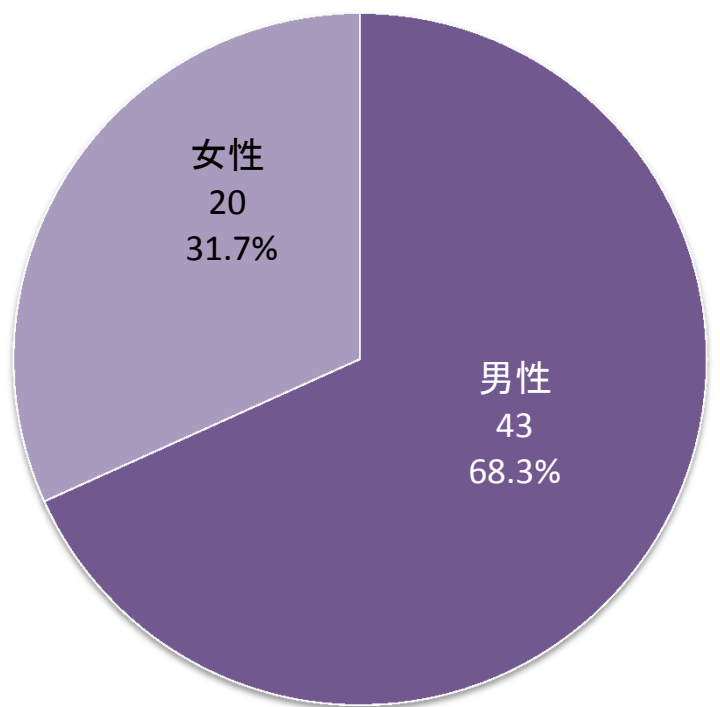
参加者

内 訳	人 数	%
講演者とその関係者	14	13.6%
教職員	28	27.2%
学生	37	35.9%
卒業生	7	6.8%
一般	17	16.5%
計	103	100.0%

回答者

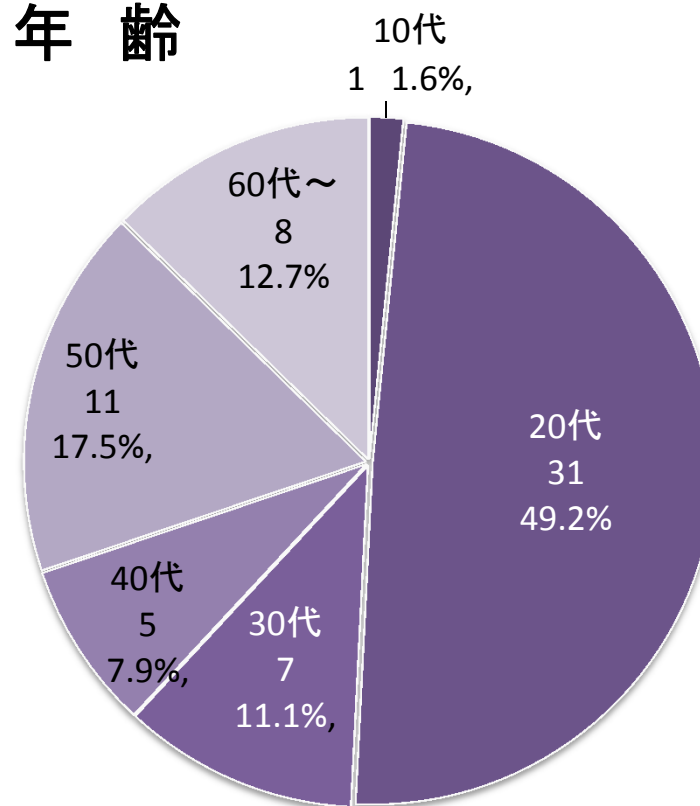
回収数 63票 (回収率61.2%)

性別



n=63

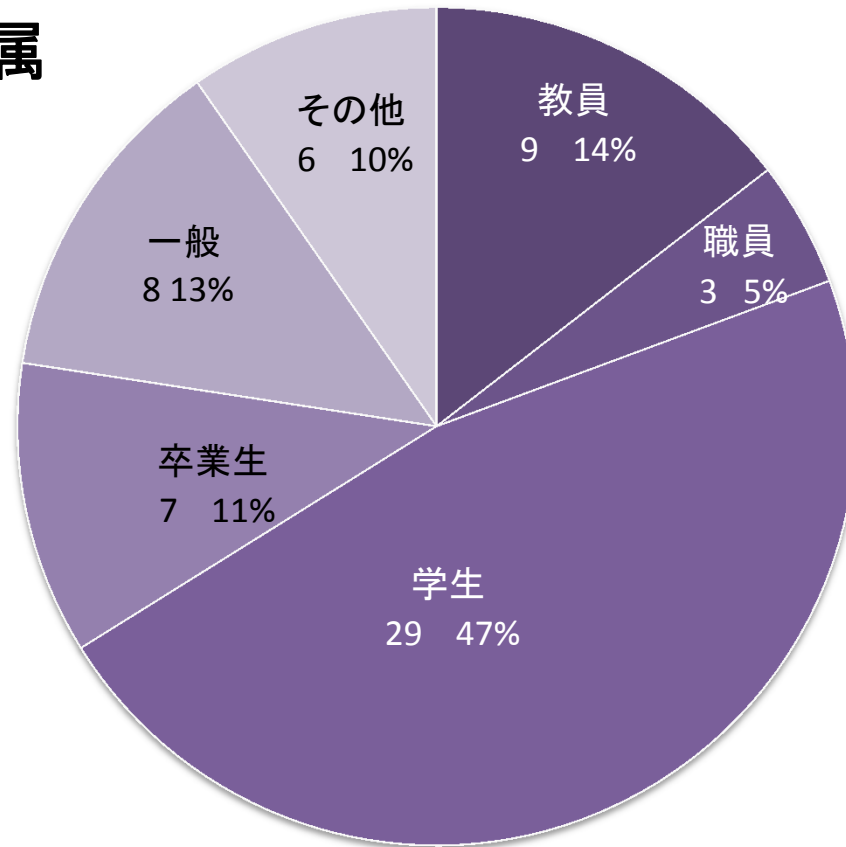
年齢



n=63

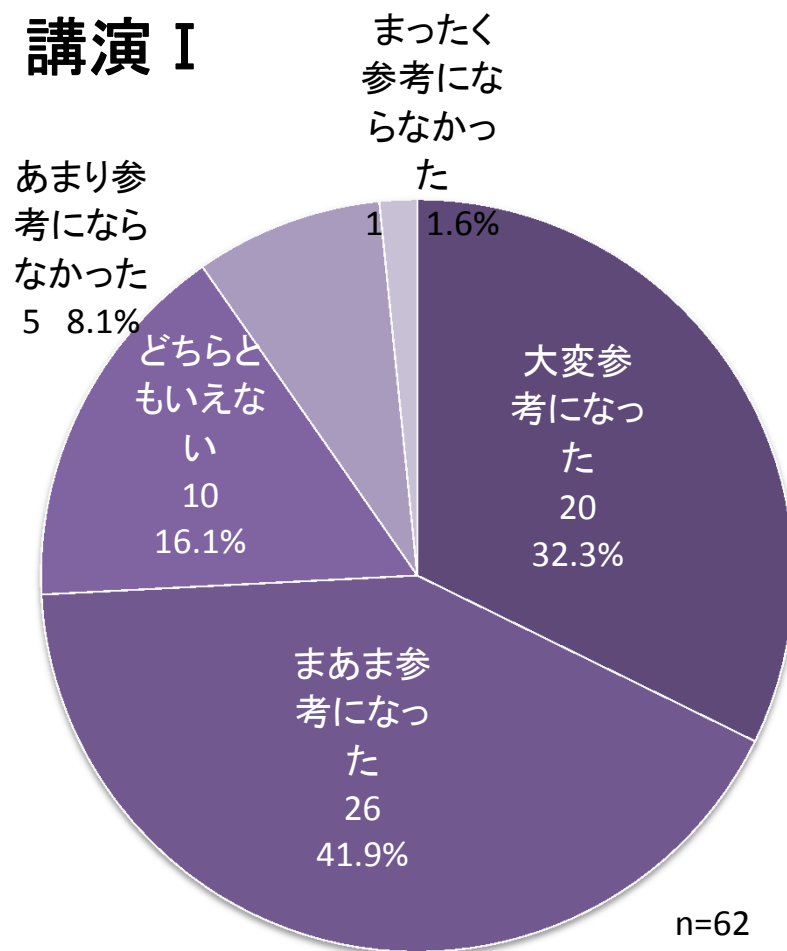
回答者

所属

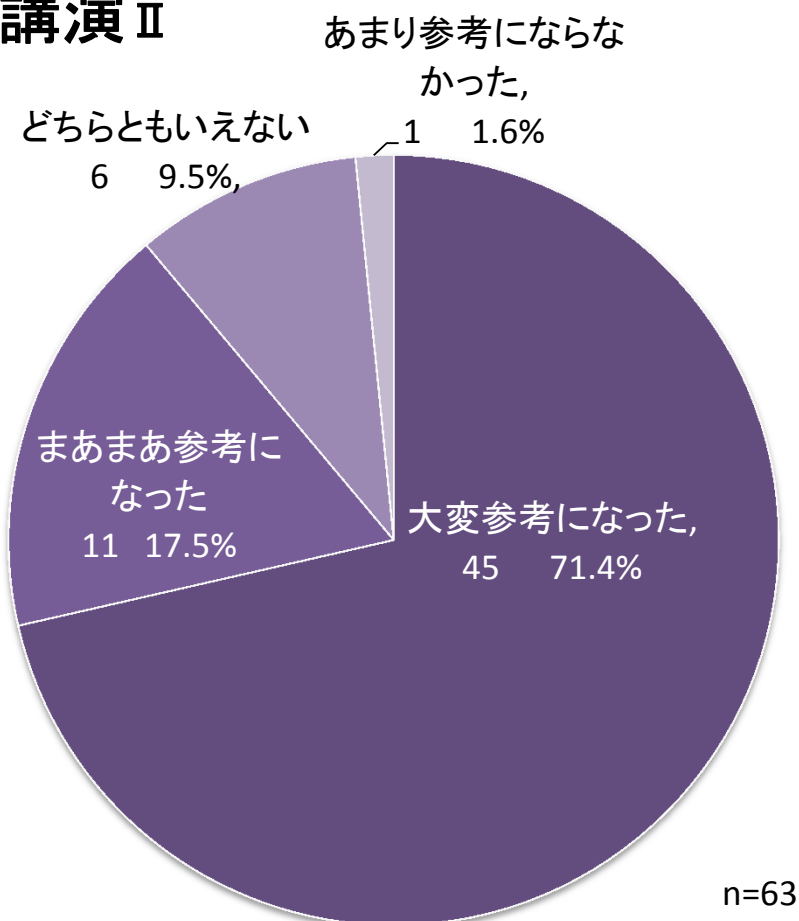


講演は参考になったか

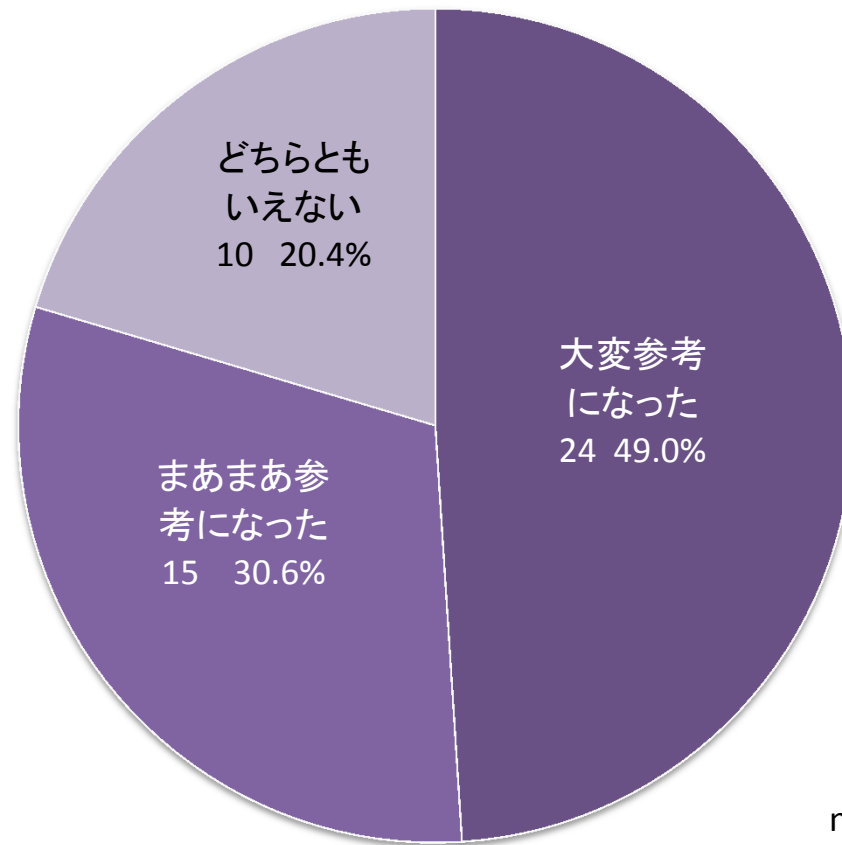
講演 I



講演 II



パネルディスカッションは参考になったか



シンポジウムの感想

《講演》

- ・山西准教授の講演が素晴らしかった。私の地域の高校にも出前授業に来てほしい
- ・山西先生が、様々な研究をする中で、針なし注射器の研究に辿り着いたことを聞き、自分も分野にこだわらず研究をしようと思った
- ・自分にはたいへん難しい内容だったが、講演者が噛み砕いて説明され、ためになった

《パネルディスカッション》

- ・パネルディスカッションの議論が面白かった
- ・パネリストの中に企業の人も入るとよかった

シンポジウムの感想

《シンポジウム》

- ・非常に有意義な時間だった
- ・先生方、職員の方、企業の方の考えを聞き、学生がどうあるべきか考えさせられる場だった
- ・このようなシンポジウムに参加するのは初めてだった。様々な方の話を聞き、今後の勉学の参考になった
- ・こうしたシンポジウムはネットワークづくりの重要な機会だと思うので、情報交換会や名刺交換会があったらよかった
- ・ただ女性の雇用を増やすことに意味はない。山西准教授のような人を増やすために、小さいころから理工系を好きになるような教育環境をつくるのがだいじだと思う
- ・若い研究者を育て採用する話ばかりで残念だった。熟年女性に研究者への道はないのか？
- ・日本では女性の就業者とくに責任ある多場の女性が少ないのは、日本の企業の子育てと仕事の両立への意識の問題だと思った

シンポジウムの感想

《女子学生》

- ・女子学生に聞いてほしい。家庭との両立について詳しく話せる人の講演など
- ・今回のシンポジウムの内容は自分の聞きたいこととギャップがあった。大学教員だけでなく、産業界の女性、女子学生の視点に立った話だとよかった

《男性》

- ・男性の講演もあるとよい(2)
- ・男子学生の参加が多いのが印象的だった

《自身の選択》

- ・1年でドクターを取れる制度は素晴らしい。自分もぜひ挑戦したい
- ・学生時代は早く社会に出ることしか考えていなかったが、今となっては、大学に戻る、大学で学び直すことを考え始めた